

## 流通株が山陰特化の求人サイトを公開 潜在層掘起しで可能性広がる

地域密着サービス業の流通株(倉吉市殿城九九七-三、江原剛社長)が今年5月、ありそうでなかった、山陰に特化した求人・求職サイト「鳥取・鳥根求人ドットコム」を公開した。



バス・トラック事業が主力の同社。以前より、バスツアー形式の会社見学会を開催するなど、新卒採用に力を入れてきた。

「新卒採用は順調ですが、育成に時間がかかるため、お客様のニーズにお応えするためには並行して中途採用も必要だと。ただ、そこが思うようにいかなかった。それが求人サイト構築のきっかけです」と江原社長。

昨今の人材難で、運送業であれば、例えばトラック運転手は公的機関や求人広告で求人を出しても壊滅状態。業界全体で退職・離職者の数が必要な雇用数を大きく上回っている。同社はまず、人手不足感のより激しい都市部の企業が、どのように人材確保に腐心しているかを調査した。

「大企業は自社の採用サイトを構築し、社をPR。ネット広告などを駆使して誘導し、採用につなげている。一方中小企業は人材紹介業を活用して、何とかしのいでいるという傾向が見えてきました」。

その傾向にならない、まずは人材紹介業の活用を検討した。ところが同社の営業エリアである鳥取・鳥根両県の求人となると、

使い勝手の良い先がなかなか見つけられなかったという。

「自社の求人が当初の目的でしたが、無いとなると他にも困っている企業があるかもしれない。じゃあ作ろう、という発想です」と江原社長。

人材派遣業の免許はすでに持っていたので、新たに有料職業紹介業の免許を申請、今年1月に許可が下り、専用サイトを構築、5月の公開に至った。

まずは自社案件だけを掲載して検証し、有用性を確信したというところで外販を始めた。「ようやく最近、マッチング成功例が出てきたところですよ」という。同サイトは、求職者がアドバイザーに相談できるという大きな特徴もある。求人に関する詳細や疑問点、不安などに一つひとつ応えてくれるだけでなく、類似する他の求人の紹介も。担当するのは、流通株のベテラン社員、真嶋咲子さんⅡ写真

Ⅱ。日ごろの内外でのコミュニケーション能力、面倒見の良さなどから「彼女しかいない」と社長直々のご指名。現在、国家資格の「キャリアコンサルタント

ト」取得に向けて勉強中だ。

「求職者が企業に直接問い合わせるのはハードルが高い。一方、間にいるアドバイザーになら言いやすく、双方の溝や誤解が埋まりやすいのが利点です」。また、スマートフォンでの閲覧のしやすさを前提にサイト構築されているため、公的機関などを利用する人とは違う層へのアプローチも可能だという。

「サイト利用の多い時間帯が昼休み、夕食後、休日。そのほか総合して考えると、何気なく閲覧している人が結構多い。つまり転職予備軍、ダブルワーク希望者など、年齢を問わず、これまでキャッチできなかった層をつかめるのではという期待があります」。

サイト公開後数カ月で、累計約400名、常時約200名が登録、その数は増加傾向にある。同社は「1人に対して3件は紹介したい」としているが、企業の登録数はまだ追いついてない。成功報酬型で雇用確定後に見込年収の20%を企業から受け取る。すぐに辞めてしまった場合には返金制度もある。

「すぐに人員確保したいという企業、また幹部候補や営業など、適任者をじっくり探したいという企業、どちらにも対応いたします」と江原社長。

今後はマッチング確率をより高めるため、例えば未経験者に対し、面接・採用前に仕事の疑似体験ができる仕組みを提案するなど、独自の取り組みも進めていく構えだ。

「求職者に丁寧の説明しただけで納得して入ってもらおうというのが理想。企業側にもお願いをしながら、より良いマッチングをしていきたい」としている。

▷ [totori-shimane-kyujin.com](http://totori-shimane-kyujin.com)